



Three Special Days
for Experiencing the Vibe of
Ceramic City of Seto
2025
11.1, 2, 3
愛知県陶磁美術館敷地内各所

「瀬戸」に触れる特別な時間

国際芸術祭「あいち2025」が掲げるテーマ「灰と薔薇のあいまに」の視点から
瀬戸のやきものと風景、その歴史に触れることのできる、特別な三日間!!!

国際芸術祭あいち2025
灰と薔薇のあいまに
Aichi Triennale 2025:
A Time Between Ashes and Roses

Three Special Days 愛知県陶磁美術館敷地内各所
for Experiencing the Vibe of Ceramic City of Seto

11月 5日 土曜日						11月 6日 日曜日						11月 7日 月曜日					
瀬戸の版築プロジェクト「凹」つくるここ！陶芸館第一実習室						瀬戸の版築プロジェクト「凹」つくるここ！陶芸館周辺						瀬戸の版築プロジェクト「凹」つくるここ！陶芸館第一実習室					
窯焚き広場						窯焚き広場						窯焚き広場					
現代美術展						現代美術展						現代美術展					
芝生広場						芝生広場						芝生広場					
7:00						7:00						7:00					
8:00						8:00						8:00					
9:00						9:00						9:00					
10:00						10:00						10:00					
11:00						11:00						11:00					
12:00						12:00						12:00					
13:00						13:00						13:00					
14:00						14:00						14:00					
15:00						15:00						15:00					
16:00						16:00						16:00					
17:00						17:00						17:00					
18:00						18:00						18:00					
19:00						19:00						19:00					
20:00						20:00						20:00					
21:00						21:00						21:00					
22:00						22:00						22:00					
23:00						23:00						23:00					
0:00						0:00						0:00					



臨時ジャンボタクシー（無料）

11.2 sunは、尾張瀬戸駅と愛知県陶磁美術館の間を専用ジャンボタクシーが運行します。

運行時間：16:00～21:30

乗り場：マルセタクシー 住所：瀬戸市陶本町1丁目31-8
「愛知県陶磁美術館」会場と「瀬戸市のまちなか」会場をつなぐバスも運行します。



令和7年度 文化庁
文化芸術創造拠点形成事業

一般社団法人
地域創造



社会創造アーツファンド
（公社）企業メッセ協議会

※荒天中止。中止の場合は、国際芸術祭「あいち2025」ウェブサイトにてお知らせします。



Jumbo-Taxi
マルセタクシー
会場間ジャンボタクシー乗り場
瀬戸市陶本町1丁目31-8



特別出店 TEMPORA Special Pop-Up Shop: TEMPORA

芸術祭コラボレーションショップTEMPORA (ON READING) がアーティスト関連書籍などを販売します。

11.2 sun. 16:00-21:00
会場：つくるとこ！陶芸館

特別出店 瀬戸少年院「陶陶塾」 Special Pop-Up Shop: Seto Juvenile Training School

《瀬戸の版築プロジェクト「凸と凹」》にも協力いただいた瀬戸少年院の、少年たちが制作した雑貨を販売します。

11.2 sun. 16:00-18:00
会場：つくるとこ！陶芸館

版築ワークショップ「星をつくるテーブル」 Rammed Earth Workshop “Table for Making Stars”

「版築」という古来の技術を手軽に体験できるワークショップです。型を組み合わせて、自分だけの星を作ります。完成した作品は思い出と一緒に持ち帰りいただけます。

11.1 sat. & 11.3 mon. 11:00-16:00
会場：つくるとこ！陶芸館 第一実習室 ※参加無料、事前申込不要

窯に集う 愛陶窯巡りNight* Night Tour of Kilns

*愛知県陶磁美術館主催事業

敷地内にある平安時代から現代までの窯を巡りながら学芸員が解説します。また、参加者と様々な分野の専門家がやきものや地域の歴史などについて語り合う場を設けます。

11.1 sat.17:00—19:00
会場：窯の記憶Ⅰ・Ⅱ、窯焚き広場 ※参加無料、事前申込不要

復元古窯焼成 Old Kiln Firing Project

*愛知県陶磁美術館主催事業

2年ぶりに薪を使った復元古窯（登り窯）で焼成を行います。焼成中は自由に見学することができます。

11.1 sat. 10:00—11.3 mon. 焚き終わるまで
会場：窯焚き広場 ※参加無料、事前申込不要

ナイトミュージアム Night at the Museum

11月1日（土）と2日（日）の二日間は、「あいち2025」愛知県陶磁美術館会場の展示を3時間延長して、19:30までご覧いただけます！（最終入館は19:00まで）

On 11.1 sat. and 11.2 sun., Aichi Triennale 2025 exhibition at the Aichi Prefectural Ceramic Museum extends its opening hours until 19:30 (last admission is at 19:00).

クォン・ビョンジュン 『ゆっくり話して、そうすれば歌になるよ』 Kwon Byungjun, Speak Slowly and It Will Become a Song

自然と人、過去から今、そして瀬戸の風土や生活の営みを感じさせる回遊型サウンド・スカルプチャーです。

11月1日（土）のみ、特別に夜間も作品鑑賞が可能です。

11.1 sat. 9:30-16:30 / 16:30-19:30（ナイトバージョン）
11.2 sun. & 11.3 mon. 9:30-16:30
会場：芝生広場 ※現代美術展チケットでご覧いただけます。予約可。

「炎を囲む三日三晩」は、国際芸術祭「あいち2025」が掲げるテーマ「灰と薔薇のあいまいに」の視点から瀬戸のやきものと風景、その歴史に触れることのできる、三日間の特別なイベントです。

芸術祭の会場の一つである愛知県陶磁美術館では、毎年秋に、三日三晩火を焚き続けながら焼成のデータを取り、窯を扱う技術を継承する古窯焼成事業※を実施しています。その開催に合わせて、芸術祭の開館時間を延長するナイトミュージアムや、瀬戸のことをより深く知るためのラーニングプログラム、そしてフードやショップが軒を連ね音楽が鳴り響く夜市など、さまざまなプログラムを用意しました。千年続く瀬戸のやきもの産業を支えてきた豊かな風土はどのようにして誕生し、時代とともにどのように変化し、さらにこの先どのように変わっていくのでしょうか？緑豊かな美術館で絶えない炎を眺めながら、瀬戸に思いを馳せる特別な時間をゆっくりとお楽しみください。

※愛知県陶磁美術館の敷地内にある、江戸時代に瀬戸で使われていた連房式登窯を復元した薪窯「復元古窯」を用いた事業。

At the Aichi Prefectural Ceramic Museum (one of the Triennale venues), the old kiln firing project* is carried out every autumn, where the museum keeps a noborigama kiln fired continuously for three days and nights while collecting data about firing ceramics and passing on the skill of working with kilns. In conjunction with this event, Aichi Triennale 2025 features extended opening hours for the museum, learning programs to deepen understanding of Seto, and a night market with foods, shops, and music. These three days offer a unique opportunity to experience landscapes, history, and the vibe of ceramic city of Seto from the perspective of the Triennale.

*The project utilizes a reproduction of an old wood-fired kiln located on the premises of the Aichi Prefectural Ceramic Museum that replicates a multi-chambered climbing kiln (noborigama) used in Seto during the Edo Period.



ホノオノ夜市／Night Market of FLAMES

瀬戸は火と土の町とも言われ、古来より人々はものづくりしながら生活してきました。夜通し焚かれる絶えない炎に照らされたまちには、職人たちを支え客人をもてなす飲食店が軒を連ねました。瀬戸のまちで美術と食で人々を繋いできたBarrackが、国際芸術祭「あいち2025」を祝して、一夜限りの楽しく幸せな時間をお届けいたします！

MUSIC(18:00-20:00) ※参加無料、事前申込不要

・THE TETORAPOTZ + SNATCH

美術の展覧会をきっかけにアーティスト5名で結成されたバンド。主に、美術館やアートプロジェクトなど、アートと交わることでできる場所で活動を展開。作詞作曲、PV、レコードから舞台装置の設計までを、絵画、彫刻、映像やインスタレーションなどの各分野で活動するメンバー自身で全てを制作している。

・シラオカ

2006年、名古屋で結成。エレキギター2本とドラムスからなる3ピースバンド。2021年、約10年ぶりとなる新作アルバム「庭」を1stと同じくcompare notesより発表。
“ただ、そこにある風景、ただ、そこにいる人々を迷いなき筆致で一氣に描ききるシラオカの歌。心がわさわさとする夜、その蒼白きグルーヴは、僕らの心を少しだけ穏やかにさせてくれる”(compare notes)

・DJ TANUKINEIRI CREW

岐阜県多治見市を拠点に活動するインディペンデントレーベル「TANUKINEIRI RECORDS」から誕生したDJクルー。国内外のアーティストをリリースしながら、カフェラウンジ・ギャラリー、野外イベントまで幅広いシーンで活動。メンバーそれぞれの音楽的バックグラウンドを活かしたジャンルレスな選曲と実験的なミックスで、聴く人の感覚をリフレッシュさせる。レーベルとしての“発掘と発信”の精神をそのままDJに投影し、常に新しい音との出会いを提示している。

デザインあいち
瀬戸の版築プロジェクト「凹」

詩を囲むタベ Poetry Evening

“瀬戸・土・焼き物”にまつわる詩を持ち寄り、腰を下ろして朗読を行います。

11.2 sun. 16:30-18:00
会場：瀬戸の版築プロジェクト「凹」
※参加無料、事前申込不要

11.2 sun. 16:00-21:00
会場：つくるとこ！陶芸館、窯焚き広場
企画運営：Barrack（古畑大気＋近藤佳那子）

FOOD & SHOP(16:00-21:00)

Art Space & Cafe Barrack＋奈良美智（ドリンク）

いたまど（アジア屋台料理）

GachanoCurryday（知多半島の有機野菜を使用したスパイスカレー）

クラシヤとススハム（スパイス料理、ドリンク、骨董、フェアトレード雑貨）

グルテンフリーのお菓子屋粉粉kona-kona（グルテンフリーの焼き菓子）

Specialty coffee 蒼 ~soh~（ドリンク）

台湾好き過ぎてつらい（台湾屋台料理、ドリンク、アルコール）

月につぶら&様時（和食、ドリンク）

手相こべや（手相鑑定とGODSEAL AGI診断）

deli（多国籍料理）

庭禾（野菜たっぷり料理、お菓子、ドリンク）

はらぺこ菓子店天秤堂（米粉の生菓子、豆花）

ブンブン食堂（炒飯）

ポロポーロタコスタンド 山輔（タコス、ケサディーヤ、ドリンク）

ほろよいタネリ with 内田池田BAR（ごちゃ混ぜバー）

ほんだびれっじ（スムージー）

MAEJAYA golden SAMOSA！（南アジアのスナック）

meguru diverse dining（お弁当）

「凸凹トーク」 Talk event about Convex and Concave

ハイブ・アースと国際芸術祭「あいち2025」ラーニングチームがタッグを組んで実現した《瀬戸の版築プロジェクト「凸と凹」》。その制作の舞台裏を、担当したメンバーがあれこれ語ります。灼熱の現場で土まみれ——疲労困憊の彼らが三日連続で駆け込んだ“オアシス”とは…！？

11.3 mon. 15:30-16:30

会場：瀬戸の版築プロジェクト「凹」
講師：辻琢磨、村上慧、松村淳子（いずれも「あいち2025」ラーニングチームメンバー）
※参加無料、事前申込不要